



## 中小業者へ支援 の軸足は、

“コロナの後のため”ではなく、



# コロナ危機を乗り越えるための手立てこそ



追加質疑で質問になつよしまた県議

「県内でクラスターが判明するたびに、キャンセルの電話が続く」「収束が見通せず、先が見えない」——県内の中小業者から悲鳴の声があがっています。

よしまた県議は3月10日の追加質疑で、中小業者への支援策

について質問。「県の対策の比重が『コロナ後』に重きを置いているように見える」と指摘し、「コロナ後」ではなく「コロナ危機を抜け出すための支援」をど真ん中に据えるべきだと指摘しました。

### 【主に提起したこと】

- 緊急事態宣言の影響は、青森県内でも深刻。これを直視した対策を。
- 昨年実施した事業者支援の2事業（協力金と応援金）で16億円の減額補正。これを使えば、新たな事業者支援は可能ならず。

1月～3月の緊急事態宣言の  
影響緩和のための

## 一時支援金

## 活用をひろげるために、 県としても積極的な手立てを

国は、緊急事態宣言の影響を緩和する目的で、一時支援金を実施しています。よしまた県議は4月21日の商工労働観光エネルギー委員会で

この制度について質問。「県としても活用をひろげる後押しを」と求めました。

制度概要を紹介します。

### 対象要件

2021年1～3月のいずれかの月の売上が  
2019年または2020年の同月と比べて **50%以上の売上減**

2021年1～3月の緊急事態宣言の時の  
**宣言地域内の飲食店と直接・間接のとりひきがある**  
または、  
**宣言地域の外出自粛の直接の影響がある**

### 制度内容

支給額：法人最大60万円、個人最大30万円

申請方法：

インターネットで申請

サポート会場でも申請可（青森商工会議所内）

締め切りなど：

5月31日まで

登録確認機関での事前確認が必要です

## コロナ後を展望し、新しい県政への転換を

コロナ後を見据えたとりくみをするなら、コロナ化が浮き彫りにした弱点を克服する新しい県政こそ必要です。よしまた県議は3月

15日の予算特別委員会でこの角度から問題提起を行いました。この間の委員会質疑の内容も含めて紹介します。

### 病床確保が大課題なのに…

### 病床削減をしている場合か？

コロナ感染がひろがり、「このペースでいくと、5月中旬には病床ひっ迫の危険性」（4月28日、県感染症対策コーディネーターの大西基喜氏）という深刻な状況です。県はこの間、病床確保の努力を続けてきました。その一方で国は、補助金まで出して、病床削減を強行しています。コロナ対策に逆行するものです。

よしまた県議は1月21日の環境厚生委員会でこの問題を取りあげ、少なくともコロナ禍のもとでの病床削減は中止すべきだと求めました。

#### ●2025年の「地域医療のあるべき姿」に感染対策なし？

よしまた県議は3月18日の同委員会で、県がすすめる地域医療構想に言及。感染対策が組み込まれず、病床削減のための枠組みのもとで、県病と市民病院のあり方を検討することは将来に禍根を残す、と指摘しました。

### 「人」「動物」「生態系」の健康を一体に

日本医師会や日本獣医師会など12団体は1月、感染症発生の背後には、人類が自然環境に及ぼしてきた負の影響が考えられる、と指摘し、「パンデミック防止に向けて『人』『動物』『生態系』の健康をひとつと考えるワンヘルスの理念のもとに力をあわせることが必要」と共同声明を出しています。予算委員会でよしまた県議は、県でもこの理念にもとづいた努力をおこなうように求めました。

#### 六ヶ所再処理工場の耐震補強

### 放射化された箇所の補強は可能か？

「基準地震動が引きあがったことにともなう、耐震補強は本当に可能なのか？」——よしまた県議は予算委員会で追求しました。

再処理工場はアクティブ試験を行ったため、放射線量が高く、人が近づけない場所があります。そのため、耐震補強など必要な手立てが取れない箇所が残される危険性があります。特に、ガラス固化体にできないままに残ってしまっている高レベル廃液が危険です。よしまた県議は、高レベル廃液が保管されている場所（セル）は、耐震補強など必要な手立てができるのか、と質問しました。

その後、原子力規制委員会では、アクティブ試験の影響が使用前検査や使用前確認に与える影響について、議論される予定となっています。

